

2025年12月期 決算説明資料

ダイナパック株式会社

2026年2月26日



**Only One
Package**

包装への想いとこだわりを
大切に時代の一步先を行く
付加価値の高い
パッケージングサービスを
ご提供します

- 01** — **会社概要**
- 02** — **事業内容**
- 03** — **2025年12月期決算概要**
- 04** — **配当について**
- 05** — **中期経営計画（2024年～2026年）**
- 06** — **トピックス**

商 号	ダイナパック株式会社
資 本 金	40億円
代 表 者	代表取締役社長 齊藤 光次(Saito Koji) 代表取締役専務 篠岡 尚久(Shinooka Naohisa)
設 立	2005年(平成17年)1月
所 在 地	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦三丁目14番15号 カゴメビル7階、8階(受付)
連 絡 先	TEL : 052-971-2651 FAX : 052-968-2395
従 業 員 数	2,418名(2025年12月期連結) 658名(2025年12月期単体)
事 業 内 容	段ボール、紙器、軟包装材および紙製緩衝材などの包装資材の製造、販売

包み、届け、ひらく。

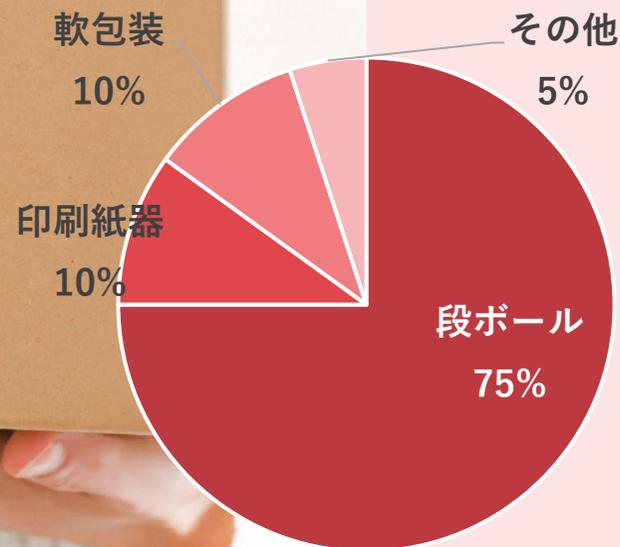
その手に何かが届く。
誰もが開ける前から
期待で胸がふくらむ。
きっとそこに
これからを彩る新しい可能性が
込められているから。
心が動く。
笑顔がこぼれる。
だから自分も想いを包んで
人に届けたいくなる。
私たちは
いつの時代も未来に向けて
人がいちばん大切にしているものを
心を込めてつないでいく。

包装材関連事業

段ボールシート、段ボールケース、印刷
紙器および軟包装材などの包装資材
の製造・販売

売上構成比率

99.5%



決算サマリー（通期累計）

国内での製品価格改定や生産性向上、および海外での積極的なM&Aが業績に大きく寄与

- 売上高は前年同期比7.3%増の670億円、営業利益は68.1%増の28億円と大幅な増益を記録！
- 売上は5期連続増収と国内外ともに包装関連事業が好調に推移し、売上・営業利益ともに過去最高を更新

売上高

加工食品分野の販売数量が伸びたことや価格改定の効果などにより堅調に推移。海外はベトナムにおける販売回復、M&A効果により増収を確保

670.8億円 前年度比 +7.3%

営業利益

人件費や運搬費、資材価格の高騰に対して行った価格の改定と生産性改善の効果がコストの上昇を上回り大幅な増益

28.8億円 前年度比 +68.1%

包装材関連事業売上高

国内外における段ボール、紙器、軟包装などの包装資材売上

704.6億円

前年度比 +7.0%

不動産賃貸事業売上高

賃貸用マンション、賃貸用倉庫、賃貸用地などの不動産売上

4.0億円

前年度比 +11.7%

損益計算書 (P/L)

通期決算結果は、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益の全てが過去最高を更新しました。

営業利益率は中期経営計画（2024～2026年）の目標である4.3%に近づき、売上は5期連続増収、経常利益は7期連続増益と着実に成長を続けています。

(百万円)	2024年12月期	2025年12月期				通期	前期比率
	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
売上高	62,530	15,079	16,514	16,234	19,254	67,083	7.3%
営業利益	1,713	600	816	840	624	2,881	68.1%
経常利益	2,468	883	916	890	867	3,557	44.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,982	1,054	709	521	893	3,178	6.6%

地域別状況

国内事業

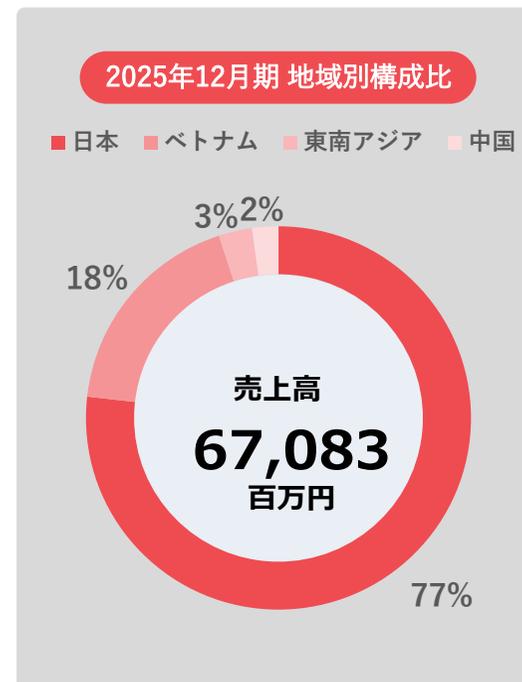
国内の段ボール業界全体の生産数量は物価上昇による節約志向、青果物の作柄不良などの影響を受け99.3%となりましたが、当社はこれを上回り前年比で100.5%の実績でした。

海外事業

ベトナムを中心に輸出型産業の回復に加え、前第2四半期より連結会計に加わったTKT社が大きく売上を伸ばしたことで、海外事業売上高比率は前年の20.6%から23.3%に上昇しました。

(百万円)

	2024年 12月期	2025年 12月期	前期比 増減率
日本	49,634	51,469	3.7%
ベトナム	9,458	12,238	29.4%
東南 アジア	2,049	1,904	△7.1%
中国	1,388	1,471	6.0%
合計	62,530	67,083	7.3%



キャッシュフロー

当期は税引前利益の高水準な計上などで営業活動によるキャッシュフローが増加、M&Aや設備投資などの投資活動による戦略的支出も増加、それを補うため財務活動による資金調達を行い期末現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ11.8億円増加し51億円となりました。

(百万円)

	2024年12月期	2025年12月期	前期比増減率
営業活動によるCF	1,074	5,232	387.2%
投資活動によるCF	△4,042	△5,756	42.4%
財務活動によるCF	687	1,909	177.9%
現金及び現金同等物に係る為替換算	△41	△205	—
現金及び現金同等物の期首残高	6,243	3,921	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,921	5,100	30.1%

貸借対照表 (B/S)

当期の貸借対照表は資産合計848億円、負債合計370億円、純資産合計478億円となりました。
自己資本比率は55.2%と引き続き健全な状態を維持しております。

(百万円)

	2024年12月期	2025年12月期	前期比増減率
流動資産	27,504	30,613	11.3%
固定資産	49,300	54,261	10.1%
資産合計	76,805	84,874	10.5%
流動負債	23,727	30,118	26.9%
固定負債	6,945	6,915	△0.4%
負債合計	30,673	37,034	20.7%
純資産合計	46,131	47,840	3.7%
負債純資産合計	76,805	84,874	10.5%
自己資本比率	59.7%	55.2%	△4.5pt

業績予想

- 次期の売上高は730億円（+8.8%）、営業利益は31億円（+7.6%）と、さらなる成長を見込んでおり、中期経営計画の最終年度に向けて目標を達成する見込みです。
- 当期純利益は25億円（△21.3%）と減益の予想としておりますが、これは今期計上した投資有価証券売却益（約17億円）などの特別利益を見込んでいないためです。

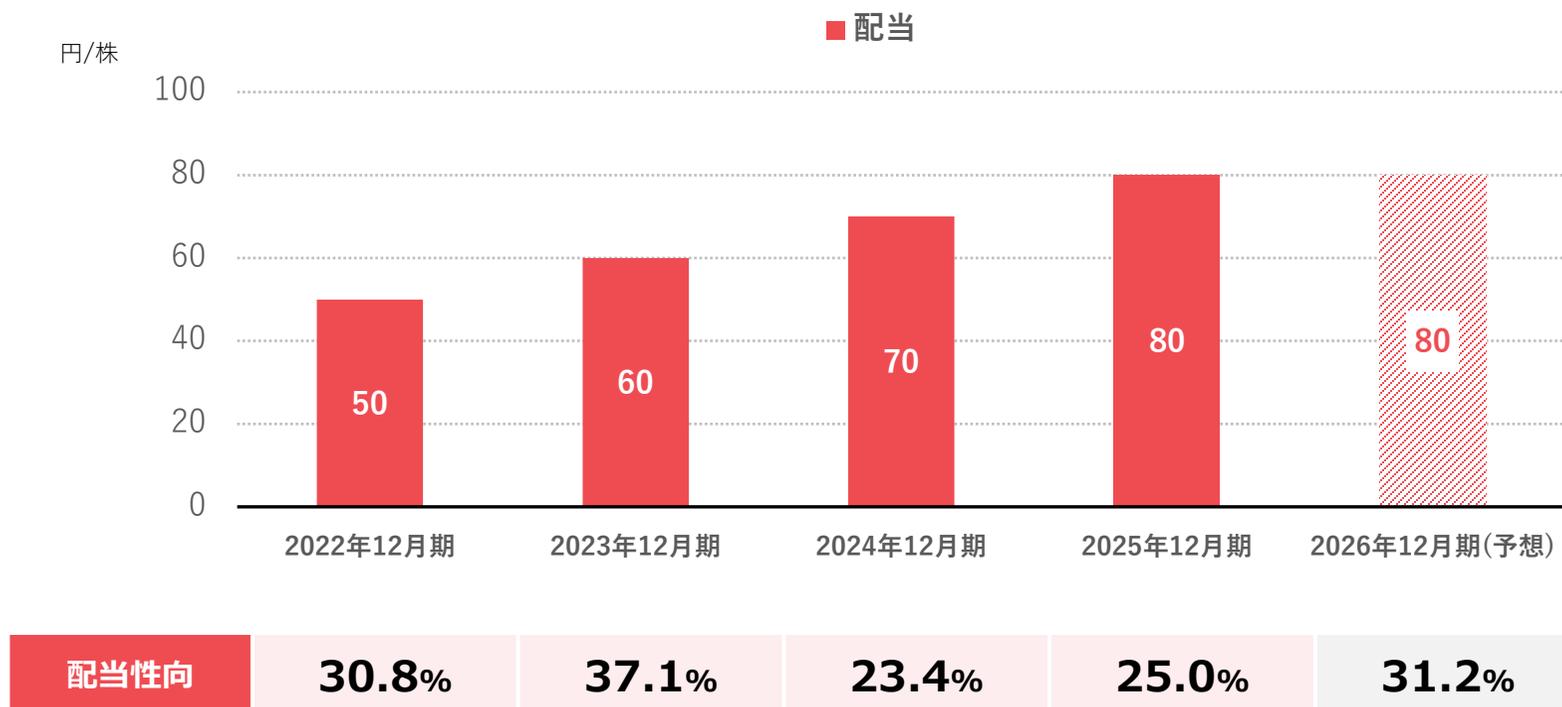
(百万円)

	2025年12月期（実績）	2026年12月期（予想）	前期比増減率
売上高	67,083	73,000	8.8%
営業利益	2,881	3,100	7.6%
経常利益	3,557	3,600	1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,178	2,500	△21.3%

配当金の推移

当社は安定的かつ継続的な利益の還元を行うことを基本方針としており、将来の企業価値の極大化に向けて、新規事業・生産設備等に投資するなど長期視点で考えてまいります。

この基本方針を踏まえつつ、近年の業績、並びに配当性向などを総合的に勘案し、2025年12月期の期末配当を当初の予想通り10円増配し1株あたり80円といたします。



中期経営計画概要

2030年のダイナパックのありたい姿

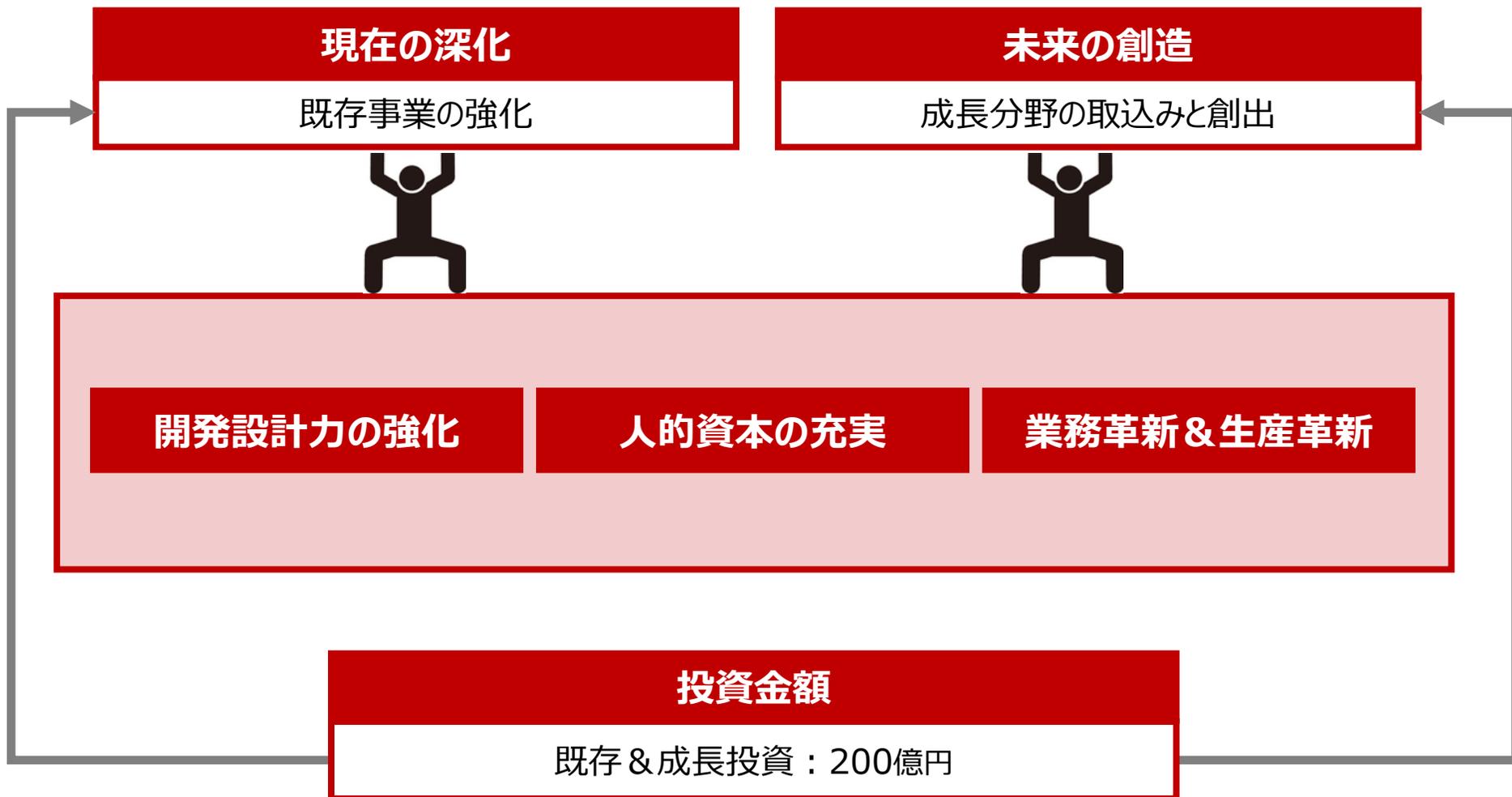
- ① 国内・海外ともに拠点近隣に根差した「特色ある事業力」を武器として、市場で存在感を示す
- ② 価値を生む仕事に喜びを感じ、使命感を持つ仲間が国地域・性別・人種を超えて活躍
- ③ 高能率 → 高収益 → 高賃金の実現

2024-2026年 中期経営ビジョン

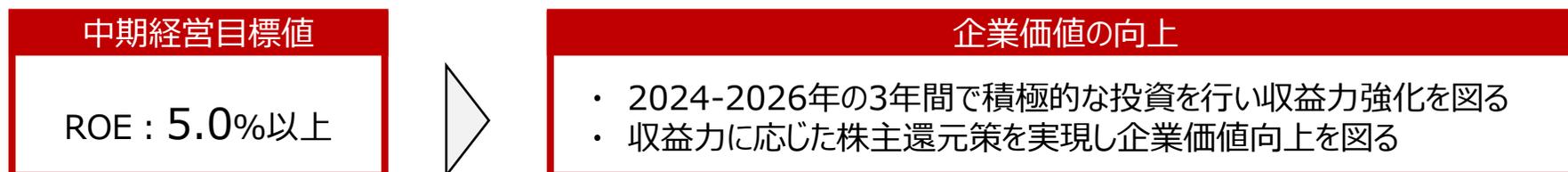
ダイナパックグループは、

- ① **リージョナル&グローバル**
物流インフラを担うパッケージ事業を中核に、成熟する国内においては地場産業として地域密着に徹して存在感を確立し、海外においては旺盛な需要を取込み成長のエンジンとします
- ② **エンゲージメント**
そのために人材育成と人的投資を通して、従業員が働き甲斐に満ち溢れ、各自が役割と使命を認識し、多様性を踏まえて自律的に活動する人材集団へと成長します
- ③ **デジタル印刷**
さらに、デジタル印刷のフロント・ランナーとして顧客価値創造と生産 & 業務革新を推進します
- ④ **サステナビリティ**
サステナビリティ方針に則り社会的課題に取組み、持続可能な社会の実現に貢献します

中期経営計画の命題



中期経営計画の定量目標（財務）



(百万円)

	既存拠点の成長		内訳		戦略的拡大	中期 定量目標
		国内	海外			
売上高	65,000	53,700	11,300	5,000	70,000	
営業利益	2,380	1,970	410	620	3,000	
営業利益率					4.3%	

中期経営計画の定量目標（非財務）

i) 温室効果ガス排出量

目標値：2030年までに2013年度比で35%削減

中期計画	2024年	:	1%削減
2023年度実績対比	2025年	:	3%削減
	2026年	:	6%削減

ii) 女性活躍

※ ダイナパック（株）単体の目標値

計画期間：2024年1月1日～2026年12月31日

目標1：女性役員2名以上の登用

目標2：職場リーダー（主任・係長）の女性割合を8%以上

目標3：正社員の女性比率を20%以上

目標4：5事業年度前後採用女性の継続就業割合を男性と同等以上（男性比1.0以上）

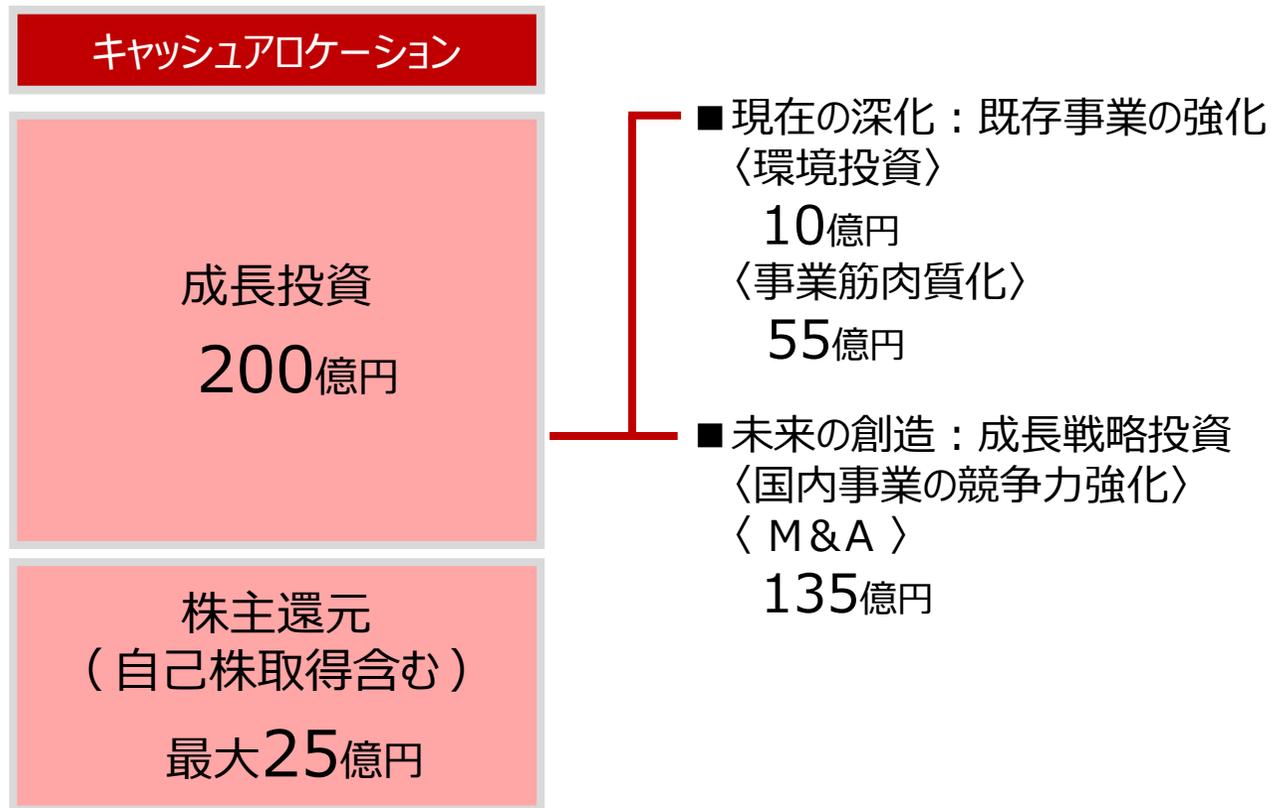
iii) 健康経営の重点施策

健康経営重点施策	評価指標	2026年 目標
生活習慣病の予防	定期健康診断の受診率	100%
	定期健康診断の二次検診受診率	100%
重篤疾病の早期発見	人間ドック受診率	100%
メンタルヘルスの対策	ストレスチェック受験率	100%
	高ストレス率（目標値以下）	17%
禁煙の推進	喫煙率（目標値以下）	20%

iv) 従業員エンゲージメント

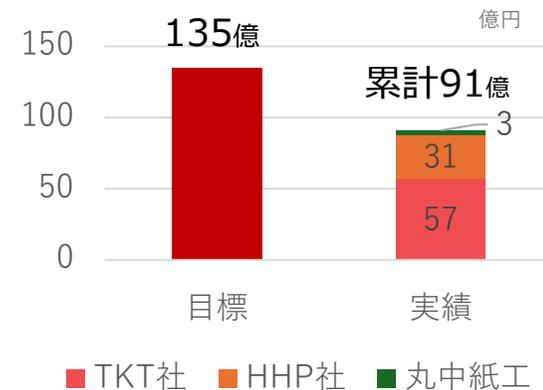
エンゲージメント指数の把握と向上

中期経営計画 成長投資と株主還元

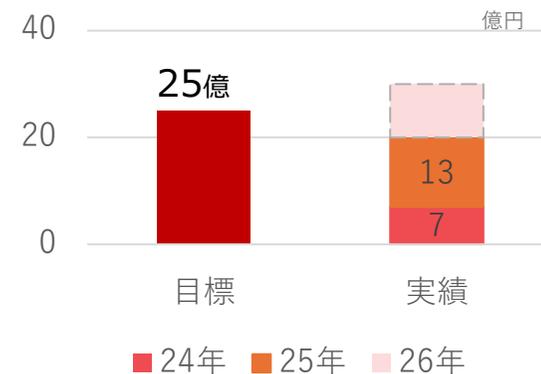


- ※ 事業成長・業績に見合う株主還元を実施
- ※ 株主還元の方針に基づき、株主配当を実行
- ※ 自己株取得は流動株式比率25%以上の維持を前提

成長戦略投資実績

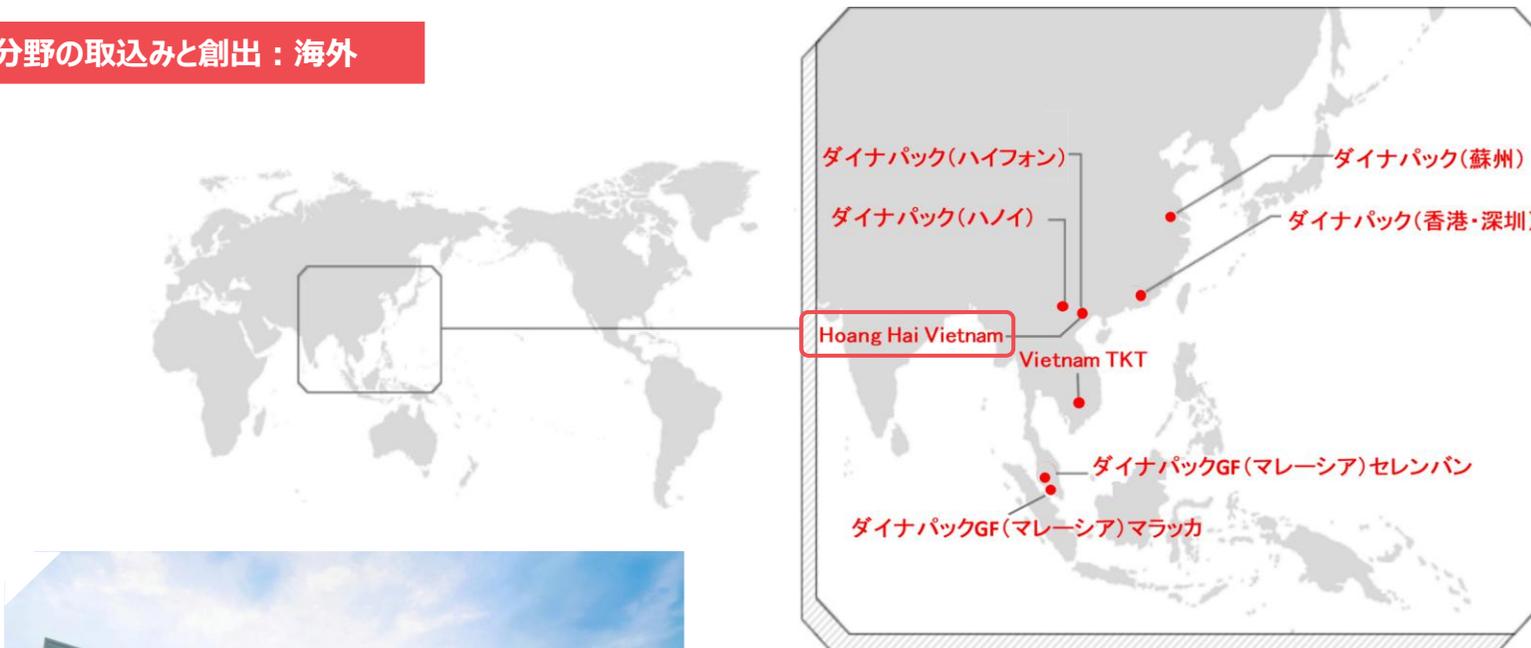


株主還元実績



Hoang Hai Vietnam Packaging Joint Stock Companyの子会社化

成長分野の取込みと創出：海外



Hoang Hai Vietnam

当社はベトナムのハイフォン市において段ボール事業を展開する、Hoang Hai Vietnam Packaging Joint Stock Companyを子会社化し、ベトナム北部における段ボール事業を3工場体制としました。ベトナムは2026年度の政府目標GDP成長率が10%であり、将来的にも伸長が期待できる市場です。今後拡大する包装材需要をさらに取り込むことができると確信しております。

丸中紙工株式会社の子会社化

既存事業強化：国内

創業1926（大正15）年、設立1950（昭和25）年の歴史ある包装資材メーカーである丸中紙工株式会社が当社の仲間に加われました。同社は愛知県春日井市に工場を持つ段ボール製造販売会社です。工場にはコルゲートマシンに加え2台の印刷機、大型2Pグルア、全自動トムソン、ボトムグルアなどを備えております。同社が加わることで、近隣地域におけるグループ間連携が強化され、当社の収益力が向上するものと期待しております。



丸中紙工株式会社



本資料の取り扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも默示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。

IRに関するお問い合わせ

ダイナパック株式会社 経営企画室

TEL 052-971-2651

URL <https://www.dynapac-gr.co.jp/>